

千葉菌類談話会通信 20 号 目次

吉見昭一先生の菌類講座の思い出	腰野 文男	4
よき先達を失う 池田 和加男氏逝く	翠田 丕	6
ナラタケ属の学名はなぜ“ Armillaria ” なのか？	太田 祐子	8
コウボウフデの文献紹介	糟谷 大河	12
マコモ栽培とそれにまつわるエピソード	吹春 公子	15
インドネシアの光るきのこの森のエコツーリズム (続)	小沢 晴司	18
直径10mを越すフェアリーリング	湯本 洵子	22
きのこの小冒険 その2 ～美しい天井画～	鈴木 きのこの	24
デジカメ講座に参加して	三休さん	26
新たに名古屋で見つかった猛毒菌 ミカワクロアミアシグチ (仮)	吹春 俊光	28
バライロウラベニロガワリ中毒記	大作 晃一	29
北大総合博物館訪問記	糟谷 大河	30
きのこ関連図書の紹介	吹春 俊光	33
きのこづくしの小旅行	福士 玲子	36
Message from Members	伊豆 明雄 松川 恵子	38
替え歌 みんなで歌おう「キノコはキノコ」	湯峯 英二	40
2002 年・2003 年度行事報告	吉田 悦子	41
きのこ歳時記 2 ―芭蕉時代の俳諧より―	今野 英山	48

表紙によせて

2～3年前、自宅の近くの森で採ったハタケシメジ。幼菌が、あまりにもかわいかったので、絵にしてみました。後は、もちろん食しました。最近では、森もだんだん荒れて、きのこも植物も、少なくなってきました。あのハタケシメジの森には、老人ホームが建っています。ちょっと寂しい今日この頃です。このハタケシメジは、その周りの枯葉とともに収穫してきて、室内で描きました。

きのこは足が速いので、その日のうちにスケッチをして、軽く色をつけておきます。場合によっては写真をとっておいて、後で参考にすることもあります。枯葉などは変化が無いので、後から描き足して行きます。今回のハタケシメジは、最初彩色画をモノカラーでコピーしてみましたが、きれいに出来なかったので鉛筆画で描きなおしました。最近では、まとまった時間がなかなか取れなくなりましたので、写真に頼ることが多くなってきました。(池田 純代)